

(特別支援教育連携会議資料)

滝川市「個別の教育支援計画・試行版」の推進状況調査結果

試行版作成対象者：小中学校＝特別支援学級在籍者
：幼稚園、保育所等＝支援を要する幼児

I. 進捗状況

平成 23 年 9 月現在

区 分	幼稚園・保育所	小 学 校	中 学 校	計
保護者の委任を受けて作成	1 件	1 0 件	6 件	1 7 件
保護者説明済みで委任未済	0 件	1 件	7 件	8 件
今後保護者説明を設定予定	6 件	1 8 件	4 件	2 8 件

II. 保護者からの意見、要望等

- 中学校～3年生の生徒にとっては、残された中学校生活が短いことから、個別の教育支援計画の作成に消極的な意見。
～保護者が必要性を感じていない。

III. 教職員からの意見、要望等

- 幼稚園・保育所～保護者と相談をして、発達支援センターとの関わりを持ってもらうまでが精一杯で、作成に理解を求めるのは難しい。
～発達障害の早期対応からも、発達支援センター（専門機関）からのアプローチをしていただくと効果的と思う。幼稚園からの説明よりも受け入れやすい面がある。センターとの連携は、大事にしたい。
～他市町村では、保健師から入園前に発達の遅れなどの情報が入るシステムと聞いている。滝川市も取り入れてはどうか。

- 小・中学校～中学校から高校に引き継ぐのは大切ですが、受験の時に提出を義務けるのは心配である。
～来年4月以降も、意見を吸い上げる機会をもち、改善すると良い。
～保護者の説明にあたる教員へのレクチャーを実施して欲しい。
～高等養護学校の教育相談に「個別の教育支援計画」の持参との文言があった。

IV. 様式に係る教職員からの意見、要望等

- ①病歴やてんかん等の記入欄が必要。
- ②個別の指導計画と重なる部分も多く、精選が必要。
- ③記入時期、記入者名が必要。
- ④様式3「支援の手立て」の欄、手立ての変更のスペースが必要。
- ⑤様式3「個別の指導計画No.～」に、年間の計画の概要を記入できるようにする。
- ⑥様式3「取組の成果や課題」の欄、日付と枠を大きくしたほうがよい。
- ⑦「同意書・委任状」について、必要なのは理解できるが、支援が必要と思われるグレーゾーンの子が、保護者の意識によって左右されてしまう。